

TeamWorks 18.2.1 リリースノート

2020 年 3 月

TeamWorks は、チームが携帯電話、Web ブラウザ、および Micro Focus GroupWise 電子メールクライアントを使用して、より効果的にコミュニケーションとコラボレーションを行うのに役立ちます。

- ◆ 1 ページの「製品の概要」
- ◆ 1 ページの「TeamWorks 18 の新機能」
- ◆ 2 ページの「インストールに関する注意」
- ◆ 3 ページの「インストール / アップグレードの問題」
- ◆ 3 ページの「既知の問題」
- ◆ 4 ページの「マニュアル」
- ◆ 5 ページの「保証と著作権」

製品の概要

TeamWorks により、組織のチームは次のことが可能になります

- ◆ プロジェクトベース、チーム指向のディスカッションの開始
- ◆ リアルタイムの会話の保持
- ◆ 動的ファイル共有

TeamWorks 18 の新機能

18.2.1 の新機能

TeamWorks 18.2.1 には、バグ修正に加えて、次の機能が含まれています。

- ◆ TeamWorks Web クライアントの UI 拡張
- ◆ OS とセキュリティの更新

- ◆ ライブラリの更新
- ◆ ユーザと TeamWorks 管理者 (管理者ユーザ) 両方のための TeamWorks Web クライアントの [TeamWorks Idea Exchange](#) へのリンク

18.2 の新機能

TeamWorks 18.2 には、バグ修正に加えて、次の機能が含まれています。

- ◆ ルームでのファイルの共有とフォルダでのファイルの整理のサポート
- ◆ Micro Focus コンテンツエディタアプライアンスによる協同編集のサポート
- ◆ SLES 15 SP1 のサポート
- ◆ 主なアーキテクチャの更新
- ◆ Web およびモバイルクライアント用の新規または更新された UI

18.1.1 の新機能

TeamWorks 18.1.1 には、バグ修正に加えて、次の機能が含まれています。

- ◆ [NetIQ Authentication Manager](#) のサポート
- ◆ 更新されたライブラリ
- ◆ 更新されたユーザインタフェース
- ◆ 信頼性、使いやすさ、アクセシビリティの向上

18.1 の新機能

TeamWorks 18.1 には、バグ修正に加えて、次の機能が含まれています。

- ◆ ユーザにメンション / タグを付けて、ユーザに投稿が通知されるようにする
- ◆ 主なアーキテクチャの更新
- ◆ 改良された電子メール通知
- ◆ SLES 15 のサポート
- ◆ パフォーマンスの改善

インストールに関する注意

TeamWorks を正常に展開するには、次のことが必要です。

1. ネットワーク上に完全に設定された DNS サービスがあること。後述の「[既知の問題](#)」を参照してください。
2. 『[TeamWorks 18.2.1 Planning Your TeamWorks Deployment—Best Practices](#)』ガイドと [TeamWorks 18 計画ワークシート](#) を組み合わせて使用して、展開を計画すること。
3. 『[GroupWise TeamWorks 18.2.1: Installation and Deployment Guide](#)』の手順を使用して TeamWorks を展開すること。

インストール / アップグレードの問題

既知のインストール / アップグレードの問題はありません。

既知の問題

- ◆ **HSTS はアクセスの問題を引き起こす可能性がある** : ブラウザは、原因として HSTS (HTTP Strict Transport Security) を一覧表示するエラーメッセージを表示して、TeamWorks へのアクセスをブロックすることがあります。

たとえば、管理者が管理タブを長時間開いたままにしていると、ブラウザに突然 HSTS エラーメッセージが表示され、Web クライアントのブロックが開始されます。

これは TeamWorks Web クライアントの問題ではありませんが、イライラさせられます。

次の 1 つまたは複数のアクションが、問題の解決に役立つ場合があります。

- ◆ 管理ユーティリティのアクセス URL で DNS 名をアプライアンスの IP アドレスに置き換える。
- ◆ ブラウザのキャッシュをクリアしてから、再起動する。
- ◆ ブラウザの HSTS 設定をクリアまたは無効にする。

ヘルプが必要な場合は、「HSTS をクリアまたは無効にする方法」に関する情報について、Web を検索してください。

- ◆ **DNS サービスはネットワーク上で実行されている必要がある** : TeamWorks を展開する前に、TeamWorks が使用するネットワーク上で完全に設定された DNS サーバが実行されている必要があります。実行されていない場合、初期システム設定が失敗します。

- ◆ **検索およびオールインワンアプライアンスの DNS 名は数字で開始できない** : 検索およびオールインワンアプライアンスの初期アプライアンス展開中に、数字で開始する DNS 名を入力すると、アプライアンスのインストールに失敗し、再実行する必要があります。

Micro Focus では、今後のアップデートでこの問題に対処する予定です。

- ◆ **サービスアカウントユーザのパスワードには ASCII 文字が必要** : TeamWorks サービスの初期セットアップ中に、以下に示す TeamWorks サービスアカウントのパスワードを設定する場合、次のユーザには ASCII 文字のみを使用する必要があります。

svcs-user

svcs-admin

Micro Focus では、今後のアップデートでこの問題に対処する予定です。

- ◆ **データベース名 - ダッシュを含めない** : データベース名にダッシュを含めると、データベースの作成に失敗します。

フィールドに戻って名前を変更するには、[戻る] ボタンを使用する必要があります。

- ◆ **アカウントロックアウトの解決** : ログイン試行の失敗によりユーザがロックアウトされた場合、管理者はこの [TID の説明](#) に従ってパスワードをリセットし、TeamWorks を再起動できます。

または、ユーザは 30 分後に再試行することができます。

Micro Focus では、今後のリリースでパスワードをリセットするために CAPTCHA を実装する予定です。

- ◆ **認証できないユーザ**: ユーザが認証できず、appserver.log に以下のエラーと同様のエントリが表示される場合は、PostgreSQL データベースへのアクセスを確認してください。また、/vastorage のディスク空き領域も確認してください。

```
2017-07-10 11:08:41,789 WARN [http-nio-8443-exec-6]
[org.hibernate.util.JDBCExceptionReporter] - SQL Error: 0, SQLState: 53100
2017-07-10 11:08:41,789 ERROR [http-nio-8443-exec-6]
[org.hibernate.util.JDBCExceptionReporter] - ERROR: could not access status of
transaction 0
Detail: Could not write to file "pg_subtrans/000A" at offset 237568: No space
left on device.
2017-07-10 11:08:41,790 ERROR [http-nio-8443-exec-6]
[com.novell.teaming.module.authentication.impl.PlusAuthenticationProviderModul
e] - Authentication failure for [mclark]
org.springframework.dao.DataAccessResourceFailureException: Hibernate
operation: could not get next sequence value; SQL [select nextval
('ss_loginaudit_id_sequence')]; ERROR: could not access status of transaction 0
Detail: Could not write to file "pg_subtrans/000A" at offset 237568: No space
left on device.; nested exception is org.postgresql.util.PSQLException: ERROR:
could not access status of transaction 0
Detail: Could not write to file "pg_subtrans/000A" at offset 237568: No space
left on device.
```

- ◆ **添付ファイルのアップロード - 名前の制限**: TeamWorks Web クライアントの場合、ファイル名に次のいずれかが含まれていると、添付ファイルのアップロードに失敗します。
 - ◆ シャープ記号またはハッシュタグ (#)
 - ◆ キャレット (^)
 - ◆ アンパサンド (&)
 - ◆ スラッシュ (/) (Windows ファイル名にはこれを含めることができないため、Macintosh のみ)
- ◆ **サポートされていない自己署名証明書**: アプライアンスの自己署名証明書を使用したアプライアンス接続のセキュリティ保護はサポートされていません。たとえば、自己署名証明書を使用して、TeamWorks とコンテンツエディタアプライアンス間に必要なセキュア接続を提供することはできません。代わりに、業界で信頼されている認証局によって発行された証明書が必要です。
- ◆ **コンテンツエディタの接続の問題**: 2 つの既知の接続の問題があります。
 - ◆ **ドキュメントが非アクティブになる**: TeamWorks とコンテンツエディタ間の接続が中断された場合、編集集中のドキュメントは淡色表示になり、編集できません。この問題は、多くの場合、ブラウザの戻るボタンを 2 ~ 3 回クリックすることで解決できます。
 - ◆ **ドキュメントがロードできない**: エディタが実際に使用できないときに TeamWorks がアクティブなコンテンツエディタの接続を登録すると、TeamWorks は誤って **[編集]** オプションを表示します。ただし、ドキュメントのロードに失敗し、エラーが表示されます。ブラウザの戻るボタンをクリックすると、ファイルとフォルダの作業領域が再ロードされます。

マニュアル

TeamWorks ドキュメントは [こちら \(https://www.novell.com/documentation/teamworks-18\)](https://www.novell.com/documentation/teamworks-18) に投稿されています。

保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.novell.com/company/legal/> を参照してください。

Copyright © 2017 – 2020 Micro Focus or one of its affiliates.